

平成20年 1月30日

河川工作物WG

今後のモニタリングの対応について（案）

今後のモニタリングの対応

モニタリングの調査結果については、知床世界自然遺産地域科学委員会において報告。

（参考）これまでのモニタリングの確認事項

1 実施目的

河川工作物の改良効果の検証。

2 実施期間

改良当年（改良前）、年改良後3年間

3 調査項目

改良箇所における遡上匹数、改良箇所上流における産卵床数、改良箇所の上下における縦横断・礫構成、改良箇所における流速、河口部での流量、改良箇所周囲の定点写真撮影

4 成否判断

遡上率、産卵床数に基づき専門家の意見を踏まえて判断。